

山の辺小学校の整備対象施設の諸室構成

分類	用 途	OA 床	冷房	暖房	給水	給湯	ガス 配管	電話 空配 管	TV受 信	LAN 空配 管	放送 設備	時計	要求内容等
普通 教室 等	授業やホームルーム、学校生活で一番長く滞在し 利用するところ		○	○				内線	○	○	○	○	(a) 学年単位の活動等を考慮し、同一学年の教室は同一階にまとまりを持った配置を基本とすること。 (b) 特別教室や体育館への移動が容易な位置への配置とすること。 (c) 内装材や色彩の工夫、収納スペースや家具の形状などに配慮し、居心地のよい教室とすること。 (d) 教室サイズの拡大や大型提示装置、充電保管庫などの学習設備を配置することを踏まえた規模として、教室サイズは参考資 料○の「児童推移」を基に計画すること。 (e) 学習への興味や関心を高められるような掲示スペースを設けること。掲示スペースは授業に集中できるような設え等を工夫 すること。 (f) 各教室または近辺に児童の人数分のタブレット端末を収納できるスペース及び電源配線を確保すること。 (g) 1坪程度で5箇所、一人になれる空間（DENスペースやカームダウン等の設え）があることが望ましい。
特別支援学級 等	種別は「知的」「肢体不自由」「病弱・身体虚 弱」「弱視」「難聴」「言語障害」「自閉症・情 緒障害」の7つに分類し、障害の種類や程度に応 じて偏性し、少人数制で、ひとりひとりにきめ細 やかな指導をおこなうところ		○	○				内線	○	○	○	○	(a) 特別支援学級は、可動間仕切り等で部屋の大きさを変動可能な仕様とし遮音性が高い計画とする。 (b) 過剰な設えではなくシンプルに計画されることを期待する。 (c) 配置は特別支援学級だけを集約するのではなく、建物の端に寄せた計画を期待する。 (d) 黒板横の掲示物などを授業中はロールスクリーン等で隠せるような設えの計画を期待する。 (e) 調光式で照度を調整できる計画を期待する。 (f) 遮光性のあるロールスクリーン等の設えの計画を期待する。 (g) 1坪程度で1箇所、一人になれる空間（DENスペースやカームダウン等の設え）があることが望ましい。
	自立活動を中心に、個々の状況に合わせて、学習 面や生活面での困難を克服・改善するところ		○	○				内線	○	○	○	○	(a) 教室にホワイトボードの設置など、教室に近似した使用ができる構造とすること。 (b) 上記と同様の仕様とすること。 (c) 教員が待機し、授業の準備を行え、収納スペースは確保すること。 (d) 児童用の収納スペースは不要とする。 (e) 多様な学習形態に対応できる空間となるように配慮すること。
	教室外登校や不登校の子どもたちが学校に復帰で きるようサポートするところ		○	○				内線	○	○	○	○	(a) 教室にホワイトボードの設置など、教室に近似した使用ができる構造とすること。 (b) 上記[普通教室等]と同様の仕様とすること。 (c) 多様な学習形態に対応できる空間となるように配慮すること。
特別教室等	音楽の学習や楽器の演奏する場所、楽器の収納、 保管するところ		○	○	○			内線	○	○	○	○	(a) 音楽活動をより充実できるよう、発表空間・練習空間をできる限り確保すること。 (b) 他の教室や近隣への音の影響に十分配慮すること。 (c) 室内音響に配慮すること。 (d) 準備室は必要とする楽器等を十分余裕をもって保管できるスペースを確保すること。棚は外部から内部に収納している物品 等が見えるものとし、施錠が可能であること。 (e) 音楽室内には単独の音響・映像設備等のシステムを構築すること。専用スピーカー、映像ディスプレイ、マイク、デジタル データ再生可能な機器等を設置すること。
	理科の学習や実験等をする、薬品や実験に使用す る器具等を保管するところ		○	○	○	○		内線	○	○	○	○	(a) 実験用机や必要となる各種設備を適切に配置し、学習環境に必要な設備を設けること。 (b) 収納棚を設置し、棚は外部から内部に収納している物品等が見えるものとし、施錠が可能であること。 (c) 理科教室から近接した準備室を設けること。室内に実験台を1台設置すること。 (d) 研究成果などの資料掲示スペースを設けること。 (e) 施錠可能な薬品保管庫（薬品保管用什器）を設置すること。薬品保管庫の設置に際しては地震その他の原因により転倒しな いよう、壁面等に固定すること。 (f) 可動型の実験台の採用や設備の配置を工夫するなど、様々な授業形態に対応でき、理科室以外の用途としても使用できるよ うに整備すること。 (g) 床下に各種配管を設ける場合は、配管空間を設けるなどメンテナンス性を考慮すること。
	絵をかいたり、工具を使って工作や作品を作る場 所、工具や材料、作成途中のものを保管するところ		○	○	○			内線	○	○	○	○	(a) 工作、図画など、児童や地域の方が様々な制作活動を行えるよう必要な設備を設けること。 (b) 作品の保管及び展示スペースを十分に確保すること。 (c) 図画工作室から近接した準備室を設けること、作品や材料の保管スペースを設けること。 (d) 床下に各種配管を設ける場合は、配管空間を設けるなどメンテナンス性を考慮すること。 (e) 手洗いシンクの設置を工夫して、様々な形態に対応できる有効なスペースを確保すること。必ずしも室内に設置しなくとも 良い。
	包丁の使い方、料理の仕方、洗濯・アイロン等生 活で必要な事を学ぶ場所、食器やミシンなどを保 管するところ		○	○	○	○		内線	○	○	○	○	(a) 被服台での食事等、裁縫と調理の一体的利用が可能な設備を設けるとともに、調理器具の利用なども考慮し、衛生面に十分 配慮した計画とすること。 (b) 調理台等の設備配置を工夫するなど、ランチルーム等の様々な形態に対応できるように整備すること。 (c) 家庭科教室から近接した準備室を設けること。 (d) 準備室内に冷蔵庫置き場を設けるとともに、教材等の準備、材料や用具、機器等を収納するスペースを確保すること。 (e) 作品・資料展示スペースを設けること。 (f) 床下に各種配管を設ける場合は、配管空間を設けるなどメンテナンス性を考慮すること。
	本や新聞などを手にとって身近に感じられ、自ら 学ぶところ		○	○				内線	○	○	○	○	(a) 読書・保管する子供図書は約700冊とし、適正な運用ができるよう書架や収納について計画、整備すること。 (b) 書架・机・椅子・閲覧コーナーの配置など、児童がより本に親しめる環境となるように工夫すること。 (c) 個人やグループで自習できるスペースを可能な限り設けること。 (d) 教職員が児童の様子を見守ることが出来る見通しの良い空間とすること。 (e) 調べ学習をしやすいよう普通教室や特別教室との位置関係に配慮し、児童が気軽に立ち寄り、リラックスした雰囲気で学習 又は交流できるよう工夫すること。 (f) 必要に応じて、情報学習コーナーや情報発信・展示スペースの設置を検討すること。 (g) カフェやサロンの要素を提案によって加えること。 (h) 図書スペースのなかに地域コミュニティスペースや一般図書スペース、受付カウンター及び事務スペースを確保すること。 受付カウンターは地域開放ゾーンの貸室業務も行えるよう、地域開放ゾーンの中心となる位置に配置すること。 (i) 地域交流の中心となるよう可能な限りゆとりある空間を整備すること。 (j) 図書スペースは、他の諸室と一体的な利用等を含め、その活用方法については自由な提案を期待する。 (k) 公民館で育まれてきた茶道教室や華道教室が引き続き活動できるスペースや設えを計画すること。例えばLDKの一角にある ような小上がり和室スペース等。
	児童・教職員だけに限らず、地域の方も利用で き、児童とも交わえるところ		○	○	○			内線	○	○	○	○	(a) 児童の小集会や説明会、学校関係者や地域の方による会議など、多目的に使用できるような構造とすること。 (b) 単独の音響・映像設備等のシステムを構築すること。 (c) ホワイトボード等必要となる設備を設置すること。 (d) 可動式家具を採用し、多様な活動に対応できるように整備すること。 (e) 学校教育上支障のない範囲での地域開放を行うため、児童動線（児童ホーム含む）やセキュリティラインに配慮すること。 (f) 学童保育所が2部から使用する。
	学校の管理、運営、事務処理をするところ	○	○	○	○			○ 内線		○	操作		(a) 来訪者の管理を行いやすいように来客用玄関に隣接して配置することが望ましい。 (b) 来客用玄関に隣接してカウンター窓及び郵便受けを設置することが望ましい。 (c) 校長室や職員室との連携が図れるよう動線に配慮すること。
	学校長が執務をしたり、来客とお話等をするところ		○	○	○			○ 内線	○	○	○		(a) 室内に打合せ、応接のスペースを設け、職員室と隣接させること。また、来賓のアプローチや職員室、給湯スペースとの動 線に配慮すること。 (b) 学校の歴史などに関わる各種資料などを保管するための棚等を設置すること。
	教職員が集ったり、事務処理したり、ミーティン グや談話、心身ともにやすめるところ	○	○	○	○	○		○ 内線	○	○	操作	○	(a) グラウンド、校門等を見通すことができ、児童や来訪者を確認しやすい配置とすることが望ましい。 (b) 校内各所への移動が容易かつ緊急対応ができるよう、配置・動線に配慮すること。 (c) 児童・保護者が気軽に入りやすいように、動線や開放性に配慮すること。 (d) 非常放送設備を設置すること。 (e) 様々な情報を管理できる情報センター機能を整備すること。 (f) 校務処理などを支援する学校LAN等を構築し、情報環境を整え、将来の情報技術・機器の変化・発展に対応できるように、配 線等の増設・変更が容易な設計とすること。 (g) 打合せスペース、流し・湯沸かし器等の設備（給湯スペース）を室内、または隣接して整備すること。 (h) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが教職員と機能的な連携を取れるように配慮すること。 (i) フリーアドレスシステムや会議スタイルの刷新など、今までにない刷新したスタイルを期待する。

山の辺小学校の整備対象施設の諸室構成

分類	用 途	OA 床	冷房	暖房	給水	給湯	ガス 配管	電話 空配 管	TV受 信	LAN 空配 管	放送 設備	時計	要求内容等
管理 諸室	配布物を印刷や製本するところ							○					(a) 印刷機器設置スペース・作業スペース・用紙等の保管スペースを確保すること。なお、用紙等の収納、保管にあたっては日焼け等により用紙が変質しないよう配慮すること。 (b) 必要な室に隣接するなど、作業にあたっての動線に配慮すること。
	児童や教職員が連絡事項や音楽などを流すところ		○	○				○		○	操作		(a) 騒音・遮音対策を講じること。 (b) グラウンドが見通せる管理諸室付近の配置とすることが望ましい。 (c) 放送設備は、校内（体育館含む）・校外（グラウンド）に対応できること。
	ケガや体調不良の手当、落ち着くまで休められるところ		○	○	○			○		○			(a) 児童が利用しやすい位置に配置すること。 (b) 緊急車両の乗り入れがしやすいよう1階に配置し、グラウンド等に面した側にも出入り口を設け手洗い足洗を設置すること。また、特別支援教室へのケア動線を優先することにも配慮すること。 (c) 職員室、相談室と連携しやすい配置とすること。 (d) 収納庫・物入れ（布団収納等）、流し台、洗濯用パン等を設置し、洗濯物や布団の干し場についても考慮すること。また、出入り口は移動式ベッドが容易に出入りできる大きさとすること。 (e) 身長計等の備品を収納することができるスペースを設け、薬剤や機密文書、個人の健康記録等を保管する施設可能な保管庫を設置すること。 (f) 吐瀉物の消毒等を想定し、床面の素材並びに換気に十分配慮した計画とすること。 (g) シャワー室やだれでもトイレを室内または隣接して設置することが望ましい。
	悩み事や相談ごとを聞いてもらったり解決してもらったところ		○	○				○					(a) 落ち着いた静かな空間とし、防音などプライバシーに配慮して設置すること。 (b) 保健室と連携しやすい位置に配置すること。 (c) 教育相談室は、カウンセリングルームと兼用する。 (d) プライバシー確保のため鍵付きの収納を整備すること。
	教職員の服の着替えや気持ちを切り替えるところ				○			○					(a) 教職員用に男女別の更衣室を設置すること。 (b) 職員室・事務室との動線や、鍵付きのロッカーを配置する等防犯対策に配慮すること。
	授業等で使用するものを保管しておくところ。							○					(a) 棚等を適宜設置し、物品の出し入れが容易なよう計画すること。また、教職員の授業準備スペースとしての使用も想定すること。
	運ばれてきた給食を保管するところ		○		○	○		○					(a) 食品を取り扱う諸室は、温度（25度以下）及び湿度（80%以下）の管理が適切に行える空調等を備えること。 (b) 手洗い設備は、肘まで洗える大きさと、自動水栓とした温湯対応の設備を必要に応じて使いやすい場所に設置すること。 (c) 排水溝は、詰まり又は逆流が起きにくく、かつ排水が飛散しない構造及び配置とすること。なお、洗浄機と接続する排水管は耐熱性とすること。 (d) 開放できる窓への網戸の取り付け、換気用ウェザーカバーへの防鳥網の取り付け、給気ダクトへのフィルターを設置すること。 (e) 近隣住民の生活環境への影響を考慮し、臭気対策を行うこと。臭気対策の方法については、事業者の提案とする。 (f) 児童が給食を取りに来る動線に配慮した配置とすること。配膳を行える必要最低限の機能を有する計画とすること。
共用部	トイレや手洗い				○	○					○		(a) 児童用、教職員用とは分けた計画を求め、利用しやすい配置とすること。 (b) ユニバーサルデザインに配慮すること。 (c) トイレは全て乾式とし、掃除用シンク及び清掃用具置場を確保すること。また、室内照明や換気設備は人感センサー連動、衛生器具は非接触式（自動洗浄）にて計画すること。 (d) 運動会や地域開放、地域イベント等での利用に配慮した屋外利用者用トイレを校舎と一体的に整備すること。なお、屋外利用者用トイレには男女別トイレ及びだれでもトイレを設置すること。
	みんなのトイレ				○	○					○		(a) だれでも使用できるトイレを求める。 (b) ベビーチェアやベビーシート、折畳みのベットやオストメイトに対応の設えに期待する。
	エレベーター設備												(a)児童の利用動線や地域の方の動線を優先した配置とすること。
屋外付帯施設	自転車置き場（屋根付き）												(a) 駐輪場は職員用、来客・学校開放用10台程度（屋根あり）のスペースを設置すること。
	施設利用者・来校舎用・管理職用駐車スペース												(b) 駐輪場と駐車スペースの動線、及び場内歩行者動線に十分配慮すること。  (a) 駐車スペースは10台分以上を整備し、うち1台分は障がい者用とすること。

※学校施設として必要最低限の性能を満たした上、上記に記載の内容が絶対では無く、柔軟で積極的な提案を求める。

※提案によって、+αの室を計画してもかまわない。

※教室、特別支援教室など展示機能が必要な室には、ピクチャーレールの設置も検討すること。

※多様化する学習に対応できるよう、情報（ICT）機器を利用できる環境を全室で整えること。

※各普通教室で着替えが行えるような、設えを計画すること。

※日照・通風など充分確保した配置とすること。

※児童の荷物を収納するスペース、道具入れや用具庫等の必要な収納を確保すること。

※教室などにおいて室内で、グループで過ごせるエリア、一人で静かに学べるエリアというような、空間を区切れるような提案が望ましい。

※諸室を学童保育所がタイムシェアで使用できるように設えること。

※セキュリティについて考え方を整理し、全てのエリアに地域利用の可能性を提案することが望ましい。